| 女川原子力発電所第 2 号機 |  |
| :---: | :---: | 工事計画審査資料

## 工事計画に係る説明資料

原子炉格納施設のらち圧力低減設備その他の安全設備
（放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに
格納容器再循環設備 (可燃性ガス濃度制御系))
（添付書類）

2021年6月
東北電力株式会社

女川原子力発電所第 2 号機
工事計画認可申請書本文及び添付書類

## 目 録

## VI 添付書類

## VI－1 説明書

VI－1－1 各発電用原子炉施設に共通の説明書
VI－1－1－4 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書
VI－1－1－4－7 設備別記載事項の設定根拠に関する説明書（原子炉格納施設）
VI－1－1－4－7－5 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備に係る設定根拠に関する説明書

VI－1－1－4－7－5－2 可燃性ガス濃度制御系
VI－1－1－4－7－5－2－1 可燃性ガス濃度制御系 安全弁及び逃がし弁（常設）

VI－6 図面
8 原子炉格納施設
8． 3 圧力低減設備その他の安全設備
8．3．3 放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
8．3．3．2 可燃性ガス濃度制御系
第 8－3－3－2－1－1 図【設計基準対象施設】可燃性ガス濃度制御系 系統図第 8－3－3－2－2－1 図 T49－F007A，B 構造図
第 8－3－3－2－3－1 図 可燃性ガス濃度制御系 機器の配置を明示した図面（その1）第 8－3－3－2－3－2 図 可燃性ガス濃度制御系 機器の配置を明示した図面（その 2 ）

VI－1－1－4－7－5－2－1 設定根拠に関する説明書
（可燃性ガス濃度制御系 安全弁及び逃がし弁（常設））


【設定根拠】
（概要）
－設計基準対象施設
T49－F007A，B は主配管「可燃性ガス濃度制御系再結合装置（A）～サプレッションチェンバ」及び主配管「可燃性ガス濃度制御系再結合装置（B）～サプレッションチェンバ」に設置する逃 がし弁であり，設計基準対象施設として T49－F007A，B 入口圧力が，可燃性ガス濃度制御系再結合装置と T49－F007A，B の設置高さのレベル差による水頭圧になった場合に開動作して系統内の最高使用圧力以下に維持するために設置する。また，系統待機中の系統内で冷却水の漏え いが発生した場合の可燃性ガス濃度制御系再結合装置の浸水を防止するために設置する。

1．吹出圧力の設定根拠
設計基準対象施設として使用する T49－F007A，B の吹出圧力は，主配管「可燃性ガス濃度制御系再結合装置～T49－F003」の最高使用圧力である 427 kPa 及び可燃性ガス濃度制御系再結合装置と T49－F007A，B の設置場所のレベル差による水頭圧を考慮し， 196 kPa とする。

2．個数の設定根拠
T49－F007A，B は，設計基準対象施設として必要な個数として，A系，B 系のそれぞれに 1 個設置し，合計 2 個設置する。



| 工事計画認可申請 |  |  |  |  | 第8－3－3－2－2－1図 |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 女川原子力発電所 第 2 号機 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| $\begin{aligned} & \text { 名 } \\ & \text { 称 } \end{aligned}$ | T49－F007A，B 構造図 |  |  |  |  |  |  |  |
| 束 | 北 | 電 |  | 株 |  |  | 会 |  |



注：寸法はmを示す。
タービン建屋 O。P。O。80

海水ポンプ室

工事計画認可申請 第8－3－3－2－3－1図女川原子力発電所 第2号機
名 可燃性がス濃度制御系機器の配置を
称 明示した図面（その1）
東 北 電 力株 式 会 社


タービン建屋 M2F
原子炉建屋 MこF

## 注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第8－3－3－2－3－2図女川原子力発電所 第2号機
名 可燃性ガス濃度制御系機器の配置を
称 明示した図面（その 2 ）
東 北 電 力 株 式 会 社

